

科目名	精神医学			ナンバリング	PSY451	授業形態	講義
対象学年	3年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	松本貴智	担当教員					

授業の概要	本講義では、公認心理師や臨床心理士を目指す学生、および心理学と関連を含めた精神医学的知識を学びたい学生のための精神医学の基礎について学ぶことを目的とする。まず、精神医学の歴史から振り返り、精神医学的診断、疾患分類、精神症状、精神医学的治療について学んでいく。講義は、テキストを中心に行うが、配付する資料や小テストなども用いて学びを深めるようにする。						
到達目標	1. 精神医学の歴史の概略について説明できる。 2. 基本的な精神医学的疾患とその診断定義について説明できる。 3. 基本的な精神医学における生物学的・心理学的・社会的治療について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)							
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
		1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 精神医学史の概略について説明できる。 2. 基本的な精神医学的疾患とその診断定義について説明できる。 3. 基本的な精神医学における生物学的・心理学的・社会的治療について説明できる。	1. 精神医学の発展に寄与した人物名とその主要業績について説明できる。 2. 記述的診断方法と操作的診断方法の概略を説明できる。 3. 代表的な精神症状および各精神疾患名を説明できる。 4. 薬物療法・精神療法・心理社会的療法の概略を説明できる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)	○	○					70%
小テスト・授業内レポート	○	○					10%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			10%
演習	○		○	○			10%

課題、評価のフィードバック	適宜、小テストを実施し、理解度を確認する。選択問題式の修了試験を実施して最終評価をする。60点未満の場合は課題レポートを実施し、それによって最終評価をする。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション・オリエンテーション 本講義の進め方について	講義の進め方について講義し、精神医学の概論を簡単に説明する。	
	第2回	精神医学序論・精神医学の歴史	精神医学の歴史・発展など学ぶ。	テキストの該当箇所(基礎編:第1章・第2章)
	第3回	精神医学的診断について—伝統的診断分類と操作的診断分類	精神医学的診断分類について学ぶ。	テキストの該当箇所(基礎編:第3章)
	第4回	精神症状について①—意識障害や知覚異常など	意識障害および知覚異常とは何かについて臨床事例を紹介しながら学ぶ。	テキストの該当箇所(基礎編:第5章・第6章)
	第5回	精神症状について②—思考障害、記憶障害など	思考障害や記憶障害について臨床事例を紹介しながら学ぶ。	テキストの該当箇所(基礎編:第6章・第7章)
	第6回	精神疾患について①—統合失調症とうつ病	統合失調症やうつ病について臨床事例を紹介しながら学ぶ。	テキストの該当箇所(基礎編:第6章・第7章)
	第7回	精神疾患について②—不安障害、強迫性障害、身体表現性障害	不安障害、強迫性障害、身体表現性障害について臨床事例を紹介しながら学ぶ。	テキストの該当箇所(基礎編:第6章・第7章)
	第8回	精神疾患について③—摂食障害・睡眠障害・物質関連障害	摂食障害、睡眠障害、物質関連障害について臨床事例を紹介しながら学ぶ。	テキストの該当箇所(基礎編:第6章・第7章)
	第9回	精神疾患について④—認知症・せん妄・知能障害	認知症やせん妄、知能障害について臨床事例を紹介しながら学ぶ。	テキストの該当箇所(基礎編:第6章・第7章)
	第10回	精神疾患について⑤—発達障害、パーソナリティ障害	発達障害、パーソナリティ障害について臨床事例を紹介しながら学ぶ。	テキストの該当箇所(基礎編:第6章・第7章)
	第11回	薬物療法について	精神医学的薬物療法のメリットやデメリット、心理職が押さえておくべき薬物療法の知識について学ぶ。	テキストの該当箇所(実践編:第8章)
	第12回	精神療法について	精神療法の理論や各種技法について臨床事例を交えながら学ぶ。	テキストの該当箇所(実践編:第8章)
	第13回	心理社会的治療や福祉的支援について	心理社会的治療の実際と心理職が押さえておくべき福祉的知識や法律なども学ぶ。	テキストの該当箇所(実践編:第9章)
	第14回	一般医学と精神医学の関連や違いについて—リエゾン精神医学など	リエゾン精神医学について臨床事例を交えながら学ぶ。	テキストの該当箇所(実践編:第9章)
	第15回	講義のまとめ	これまでの内容を総括し、重要箇所について改めて確認する。	
	試験	選択形式の問題を中心とした修了試験を実施する。その試験によって成績を評定する。60点以下の場合は、レポート課題を実施し、その評価によって成績を評定する。		
授業の進め方		講義を基本とするが、適宜グループワークなどをによって精神医学に関する知識を深める演習を実施する。また適宜小テストを実施する。		
授業外学習の指示		講義前に教科書の該当ページを熟読する。  (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	心理のための精神医学概論、沼初枝、ISBN978-4-7795-0895-0、ナカニシヤ出版、2014年、3,200円、2014年
参考書	講義にて配布する資料を参考する。
参考URLなど	なし。
その他	なし